



体験による生活の中での学びを大切に

校長 勝本 祥治

雨や曇の降る大変寒い一日でしたが、十八日(日)に、生見小PTAで正門に門松を設置しました。早いもので二学期も残すところ一週間です。それでは、学校行事で二学期を振り返ります。

【エアロビ体操教室】
高岡先生に來校していただき、お家でできるからだほぐし運動としてエアロビクスを体験しました。

【秋季運動会】
今年度も午前中開催となりましたが、地域種目を四種目取り入れることができました。また、PTAと児童一緒のおた踊りを披露することができました。

【集団宿泊学習】
一倉小学校の児童と少年自然の家でオリエンテーリングやキャンプファイヤーなど、一泊二日の活動をしました。

【プログラミング教育出前授業】
鹿児島大学の先生や学生などから、プログラミングの基礎や楽しさを学びました。

【学習発表会】
参観者の制限を緩和し、日頃の学習の成果を家族や来賓の前で発表しました。

【ふれてみよう!かごんま弁】
かごんま弁劇団「げたんは」の皆さんから「かごんま弁」の面白さや素晴らしいさを学びました。

【鹿児島市小学校音楽会】
川商ホールで、三年ぶりに合唱や合奏を披露しました。

【ふれてみよう!かごんま弁】
かごんま弁劇団「げたんは」の皆さんから「かごんま弁」の面白さや素晴らしいさを学びました。

二学期も子供たちにとって価値ある体験活動を実施することができました。これらが子供の社会性や豊かな人間性を育むことに繋がると考えています。

今後とも体験活動を計画的に推進していきたいと思えます。この一年の皆様の学校運営に対する御理解と御協力に心から感謝申し上げます。

さて、子供たちの楽しみにしている冬休みがやってきます。冬休みは、年末・年始の行事があり、子どもたちが様々なことを体験できるときです。また、伝統行事や文化に触れる機会が多いのも冬休みです。初詣やおせち料理、書き初め、独楽回しや羽子板などの正月遊び等をこの機会に子どもたちに体験させていただき、生活の中での学びを大切にしたい冬休みにしてほしいなあと思っています。

鹿児島市立生見小学校
鹿児島市 喜入生見町
1365番地
TEL-343-0009

今月の一句
へそまがり
ゴーンとさよなら
除夜の鐘
米倉 史華



1年生生活劇「1年生 毎日楽しいよ」

素晴らしい発表! 学習発表会

2年朗読劇「お手紙」

6年メッセージ「6年間のありがとう」

3・4年歌・合奏「song for you」

11月27日(日)に、生見小学校体育館にて学習発表会が盛大に行われました。入場制限、感染対策を行った中で、子どもたちはこれまで練習してきた成果を存分に発揮して、素晴らしい発表を披露してくれました。

それぞれの学級の発表では、1年生は、入学してからできるようになったことを、教科ごとに授業形式で発表しました。2年生は、国語で学習した「お手紙」とかけ算九九の暗唱を朗読劇で発表してくれました。3・4年生は、合奏を3曲と朗読と合唱を合わせた発表をし、最後を飾る6年生は、高学年らしい堂々とした音楽演奏と6年間のありがとうの気持ちを両親にむけてスピーチしました。

そして、全校児童で取り組んだ合唱と合奏は、元気のあるきれいな歌声と多学年で演奏するよさを生かした合奏にとっても感動させられました。この発表を、来年こそはもっと多くの地域の方々にも披露できたらいいなと思うことでした。

また、今年度は児童、職員、参観者全員で参加するリズム遊びや地域の方の鹿児島島の文化である竹笛「天吹(てんぷく)」の紹介、職員合奏など例年とは、また一味違った発表会となり盛り上がりしました。

【1月の主な行事予定】

- 1日(土) 年賀式
- 10日(火) 始業式, 身体計測・視力測定
- 12日(木) 移動図書館, 中学校入学説明会(6年)
- 18日(水) クラブ活動
- 20日(金) 授業参観(3・4年生半成人式), 学校保健委員会, 全体PTA
- 23日(月) 学校給食週間(～27日まで)



鹿児島市小学校音楽会

3年ぶりに開催された鹿児島市小学校音楽会。全校児童でバスに乗り、川商ホールに向かいました。大きなホールで歌い、演奏する経験は鹿児島市の児童誰しもができる経験ではありません。それを全校児童が経験できる。しかも毎年（開催されればの話ですが）。これは、小規模校のよさでもあります。

会場についた子どもたちは、大きな舞台で発表することや多くの学校が参加している雰囲気から少し落ち着きませんでしたが、会が始まると徐々に落ち着きを取り戻した様子でした。他校の発表にも多くの刺激を受けたのでしょう。みんな素晴らしい鑑賞態度で聴いていました。

そして本番。「ふるさと」を22人の響きのある澄んだ歌声で立派に歌い上げ、「スーパーカリフラジリスティック エクスピアドージャス」を丁寧に演奏することができました。子どもたちの堂々とした立派な発表に、とても感動しました。講評の先生からもお褒めの言葉をいただきました。この経験は、子どもたちにとって大きな自信になったと思います。



なわとび大会

9日(金)は、なわとび大会を実施しました。保護者の方もたくさん応援に来てくださいました。

まずは、全員で持久跳びに挑戦しました。低学年1分、中学年2分、高学年3分を目標に縄に引っかかることなく跳び続けられるように頑張りました。目標を達成できた児童が多くいました。

次に、自分で決めた跳び方で時間内に何回連続で跳び続けることができるか挑戦しました。それぞれが目標回数を決めて挑戦し、制限時間内精一杯挑戦していました。

最後に、縦割り班で長縄全員一斉跳びに挑戦しました。1年生から6年生までの異学年の集団で息を合わせて一斉に跳ぶので、とにかくチームワークが大切な競技でした。

みんな自分の目標に向かって精一杯頑張る姿を見ることができました。縄跳びは、極めようと思えば、跳び方、回数、時間などいろいろな挑戦ができる運動です。もっともっと上の目標を定めて磨きをかけて行ってほしいと思います。そして、来年はまたより進化した技能でなわとび大会を迎えてほしいと思います。



7日(水)にかごんま弁劇団「げたんは」の皆さんに今年度も鹿児島弁講座を開いていただきました。

子どもたちにとってあまり馴染みがなくなっている「かごんま弁」の面白さや素晴らしさを劇やクイズ、お話をとおして分かりやすく教えてもらいました。

劇団の方の面白い演技に、子どもたちは今回も引き込まれていき、いろいろな鹿児島弁を覚えていました。方言は、その土地その土地の大切な文化の一つなので、みんなが継承して行ってほしいなあと思います。

